

「2016(第14回)北京国際汽車展覧会(北京モーターショー)」において 次世代ビークルの進化に貢献する先進技術を紹介



ブース外観イメージ

日立オートモティブシステムズ株式会社(代表取締役兼社長執行役員&CEO: 関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)の中国地域統括会社である日立汽車系統(中国)有限公司(董事長: 蒲生 慶一/以下、日立汽車系統)は、4月27日(水)から5月4日(水)まで中華人民共和国(以下、中国)北京市で開催される「2016(第14回)北京国際汽車展覧会 Auto China 2016 (北京モーターショー)」に出展します。本展示会では、“Moving Forward! 人・クルマ・社会がつながる未来へ”をテーマに、自動運転やコネクテッドカーなどの次世代ビークルの進化に貢献する日立グループの先進技術を紹介します。

世界最大の自動車市場である中国では、自動車の販売台数が継続的に伸長する中で、自動車における環境性能や安全性能の向上に対する社会的ニーズが高まっています。日立オートモティブシステムズは、強みであるメカトロニクス製品や制御技術などを生かし、環境保全や交通事故低減に貢献しています。

「環境」分野においては、内燃機関を高効率化する筒内噴射エンジンシステムおよびバルブタイミングコントロールをはじめとする「高効率エンジンシステム」や、電動車両の駆動を支えるモーターやインバーター、リチウムイオン電池からなる「電動化システム」などの事業を展開しています。

また、「安全」分野においては、クルマの基本機能である「走る」「曲がる」「止まる」の性能を向上させる、サスペンションやステアリング、ブレーキなどの「走行制御システム」や、高度安全走行を支える「認識」「制御」「駆動」の技術として、ステレオカメラや自動運転 ECU(Electronic Control Unit)、走行系電制アクチュエーターを連携させた「ADAS」(先進運転支援システム:Advanced Driver Assistance System)などを提案しています。

日立自動車系統は、北京中国国際展示中心(新館)の日立グループブース(ブース番号:W1-W04)にて、クラリオン株式会社の現地法人である東莞歌樂東方電子有限公司(ドンガン・クラリオン・オリエント・エレクトロニクス)と共同で以下のコーナーに分けて展示を行います。

【先進運転支援システムコーナー】

ADAS の機能として、全方位センシング機能をはじめ、標識・信号認識機能、後側方衝突防止機能、歩行者行動予測制御機能や高精度な地図情報にさまざまなリアルタイム情報を重ねる機能などについて、映像を交えて紹介します。

【シナジーソリューションコーナー】

低炭素社会に向けた日立グループのシナジーを生かした技術を紹介します。内燃機関を高効率化するエンジンコントロールユニットをはじめとする「高効率エンジンシステム」に加え、クルマの電動化を支える基幹部品であるモーター、インバーター、リチウムイオン電池といった「電動化システム」など、幅広い製品群を展示します。

【モータースポーツコーナー】

日立グループが 2012 年より協賛している米国インディカーのチーム・ペンスキーや、日本で高い人気を博している全日本選手権スーパーフォーミュラの迫力あるレース映像を、モニターで放映します。

【モーションライドシアター】

4 名が搭乗できるドライビングシミュレーターを設置し、インディカーレースやスーパーフォーミュラのドライビングと日立オートモティブシステムズが取り組む先進運転支援システムを、大型スクリーン映像で疑似的に体感できます。

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社: 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容: 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
